

2019年度 授業計画(シラバス)

科目名	エステティック理論Ⅰ		コース名	トータルビューティ			
担当教員	ルグラン 美都子	学年・学期	1年・前期	時間数	15 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業方法	<p>・エステティックに関する基礎知識、エステティックの本質となる「ソシオエステティック」、エステティックの歴史、資格制度、関連法規、生命活動の基本であるホメオスタシスについて学び、安全安心なエステティックのあり方、エステティックの心身に対する効果について理解を深める授業である。</p> <p>授業は講義形式で「エステティック理論Ⅰ」における理論的学習と「フェイシャルエステティック基礎演習」および「ボディエステティック基礎演習」における技術的学習との関連性をもたせた授業展開を行う。</p>						
到達目標	<p>本科目「エステティック理論Ⅰ」のねらいは、エステティシャンとして社会で働くうえで、法令を遵守し、お客さまに安全安心なエステティックを提供する大切さ、お客さまから信頼されるエステティックサービスとはどのようなものなのか、を明確にし、エステティックの全体像を理解した上で従業できる基本を身につけることにある。同時に将来目指す職業への関心を深め、就業に向けた実践的な行動がとれるようにする。</p>						
第1週	エステティックとは①						
第2週	エステティックとは②						
第3週	エステティックとは③						
第4週	エステティックの概念 ①						
第5週	エステティックの概念 ②						
第6週	エステティックの概念 ③						
第7週	エステティックに関連する法律 ①						
第8週	エステティックに関連する法律 ②						
第9週	エステティックに関連する法律 ③						
第10週	エステティックに関連する法律 ④						
第11週	エステティックに関連する法律 ⑤						
第12週	生命活動とホメオスタシ①						
第13週	生命活動とホメオスタシ②						
第14週	生命活動とホメオスタシ③						
第15週	前期試験対策						
評価方法	<p>定期試験、課題提出および内容、出席状況、授業態度を考慮して成績を評価する。 ※評価目安：筆記試験(70%)・課題提出および内容(10%)・出席状況(10%)・授業態度(10%)</p>						
教科書 教材など	<p>①AJESTHE認定フェイシャルエステティシャン AJESTHE認定ボディエステティシャン 理論と技術 ②フェイシャルトリートメント マニュアル</p>						
実務経験	・有限会社 サロンドフローラにてエステティシャンとして9年半勤務			実務経験のある教員による 授業科目		✓	

2019年度 授業計画(シラバス)

科目名	皮膚科学 I			コース名	トータルビューティ		
担当教員	ルグラン 美都子/時實 好恵	学年・学期	1年・通年	時間数	30 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業方法	<p>・皮膚にはバリア機能があり、身体をさまざまな環境から守っている。また皮膚は「心の鏡」といわれ、心身の影響をととも受けやすくデリケートで日々変化している。</p> <p>・授業は講義形式で皮膚のしくみと美容上大切な皮膚の働きについて学び、皮膚の構造や仕組みを理解し、お客様に伝えられるように学習する。</p>						
到達目標	<p>・エステティックトリートメントで触れる皮膚について学び、お客様の皮膚の状態を理解する力を養う。お客様の肌を診て、触れて、お客様の肌の変化を常に感じられる力を身に付ける。</p>						
授業計画・内容							
第1週	皮膚の大切な役割		第16週	さまざまな皮膚の状態とお手入れのポイント			
第2週	皮膚の基本(構造と働き)①		第17週	衰えた肌			
第3週	皮膚の基本(構造と働き)②		第18週	色素沈着			
第4週	皮膚の基本(構造と働き)③		第19週	ニキビ、吹き出物			
第5週	皮膚の基本(構造と働き)④		第20週	敏感肌			
第6週	皮膚の基本(構造と働き)⑤		第21週	季節と肌について			
第7週	美容に大切な皮膚の働き①		第22週	エイジングとお手入れのポイント①			
第8週	美容に大切な皮膚の働き②		第23週	エイジングとお手入れのポイント②			
第9週	美容に大切な皮膚の働き③		第24週	女性ホルモンと肌への影響			
第10週	美容に大切な皮膚の働き④		第25週	ストレスと肌への影響			
第11週	美容に大切な皮膚の働き⑤		第26週	肌荒れと敏感肌①			
第12週	肌タイプとお手入れのポイント①		第27週	肌荒れと敏感肌②			
第13週	肌タイプとお手入れのポイント②		第28週	肌荒れと敏感肌③			
第14週	肌タイプとお手入れのポイント③		第29週	その他の肌への影響			
第15週	前期試験対策		第30週	後期試験対策			
評価方法	<p>定期試験(、課題提出および内容、出席状況、授業態度を考慮して成績を評価する。 ※評価目安:筆記試験(70%)、課題提出および内容(10%)、出席状況(10%)、授業態度(10%)</p>						
教科書 教材など	<p>①AJESTHE認定フェイシャルエステティシャン AJESTHE認定ボディエステティシャン 理論と技術 ②フェイシャルトリートメントのマニュアル</p>						
実務経験	ルグラン 美都子:有限会社 サロンドフローラにてエステティシャンとして9年半勤務				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2019年度 授業計画(シラバス)

科目名	解剖生理学 I		コース名	トータルビューティ			
担当教員	ルグラン 美都子	学年・学期	1年・後期	時間数	15 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業方法	<p>・人の身体はその最小単位が細胞であると同時に、組織や器官で構成されたひとつの生命体でもある。エステティシャンが身体のしくみと構造、働きを理解することは、安全で効果的なトリートメントを提供する上で必要である。</p> <p>・授業は講義形式でエステティック技術演習における技術的学習との関連性をもたせ、トリートメントに生かせる授業展開を心がける。</p>						
到達目標	<p>①エステティシャンが施術する際に必要な筋肉やリンパ節の正確な位置やしくみ、働きについて理解する。</p> <p>②身体のしくみと働きを理解し、お客様の心身のさまざまな反応を確認しながら、施術方法を調整することへつなげていく。</p> <p>③身体の構造を理解することで、トリートメントにおける禁忌の理由を理解させ、安全なトリートメントを行う力を養う。</p>						
授業計画・内容							
第1週	身体の基本 細胞						
第2週	組織 器官系						
第3週	骨の構造と働き①						
第4週	骨の構造と働き②						
第5週	筋肉の働きと種類①						
第6週	筋肉の働きと種類②						
第7週	筋肉の働きと種類③						
第8週	神経系 中枢神経						
第9週	神経系 末梢神経						
第10週	感覚						
第11週	循環器系 血液循環						
第12週	循環器系 リンパ系						
第13週	消化器系①						
第14週	消化器系②						
第15週	生殖器系						
評価方法	<p>・後期に学期末試験を実施し、筆記試験の結果と授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。 ※評価目安:筆記試験(90%)・出席や授業態度(10%)</p>						
教科書 教材など	①AJESTHE認定フェイシャルエステティシャン AJESTHE認定ボディエステティシャン 理論と技術						
実務経験	有限会社 サロンドフローラにてエステティシャンとして9年半勤務			実務経験のある教員による 授業科目		✓	

2019年度 授業計画(シラバス)

科目名	フェイシャルエステティック技術理論		コース名	トータルビューティ			
担当教員	ルグラン 美都子/時實 好恵	学年・学期	1年・前期	時間数	15 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業方法	<p>・エステティックは、皮膚が本来もつ恒常性維持機能(ホメオスタシス)を高め、健康的で美しい肌の保持と向上、悩みの解消と容貌などの洗練が目的である。</p> <p>・授業は講義形式で、これらをどのように高めていくか、フェイシャルエステティック技術の目的や効果について学習する。季節や肌状態に合わせたマッサージの技術や機器の理論を学習し、技術の授業につなげていく。</p>						
到達目標	<p>①フェイシャルエステティック技術について、何を何のために行うか理解する。</p> <p>②人の肌に触れるために必要な心構えや知識を身に付ける。</p> <p>③エステティシャンに必要な身だしなみや、事前準備、サロンに必要な雰囲気を理解させる。</p> <p>④実技一つ一つの意味を理解させ、知識と技術が連動するように導く。</p>						
授業計画・内容							
第1週	マニュアル作り フェイシャルエステティックの流れ						
第2週	事前準備、身だしなみとエステティックのお声掛け、流れ事前準備について						
第3週	フェイシャルトリートメントの基礎知識 クレンジングの手法について①ポイントメイク						
第4週	クレンジングの手法について②全体クレンジング						
第5週	クレンジングの手法について③スチームタオル拭き取り						
第6週	フェイシャル・各技術の目的、手法エステティックとは①						
第7週	フェイシャル・各技術の目的、手法エステティックとは②						
第8週	フェイシャル・各技術の目的、手法エステティックとは③						
第9週	フェイシャル・各技術の目的、手法エステティックとは④						
第10週	ディープクレンジングについて						
第11週	パックの種類と効果						
第12週	エステティック機器について						
第13週	エステティック機器、吸引について効果と使用方法						
第14週	エステティック機器 エレクトロクレンジングについて 効果と使用方法						
第15週	前期試験対策						
評価方法	<p>・前期に学期末試験を実施し筆記試験の結果と提出物及び授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。</p> <p>※評価目安:筆記試験(70%)出席率(10%)・授業態度(10%)・提出物(10%)</p>						
教科書 教材など	<p>①AJESTHE認定フェイシャルエステティシャン AJESTHE認定ボディエステティシャン 理論と技術</p> <p>②フェイシャルトリートメントのマニュアル</p>						
実務経験	ルグラン 美都子:有限会社 サロンドフローラにてエステティシャンとして9年半勤務			実務経験のある教員による 授業科目		✓	

2019年度 授業計画(シラバス)

科目名	ボディエステティック技術理論		コース名	トータルビューティ			
担当教員	ルグラン 美都子/時實 好恵	学年・学期	1年・後期	時間数	15 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業方法	<p>・ボディエステティックの効果、目的を学ぶ。ボディエステティックの基本的な流れ、ベーシックな技術の理論を学習し、一つ一つの手技の意味や効果を学習する。禁忌事項も学習する。</p> <p>・授業は講義形式で身体の生理機能や解剖生理学のを学ぶことで、骨格や筋肉、循環器などの理解を深め、ボディエステティック技術に生かす。</p>						
到達目標	<p>①ボディエステティックの効果、目的、基本的な流れを理解し技術に生かせるようにする。</p> <p>②禁忌事項を理解し、安全安心なエステティックが提供できるようにする。</p>						
授業計画・内容							
第1週	ボディエステティックの目的と効果						
第2週	ボディエステティックの流れ						
第3週	施術前に行うこと						
第4週	ボディトリートメントの実際						
第5週	ボディマッサージの手技の技術と効果について①						
第6週	ボディマッサージの手技の技術と効果について②						
第7週	ボディマッサージの手技の技術と効果について③						
第8週	ボディマッサージの手技の技術と効果について④						
第9週	下肢背面の筋肉について						
第10週	腰背部の筋肉について						
第11週	下肢前面の筋肉について						
第12週	上肢の筋肉について						
第13週	デコルテ、首、頭の筋肉について						
第14週	血液とリンパとマッサージについて						
第15週	後期試験対策						
評価方法	<p>・後期に学期末試験を実施し、筆記試験の結果と課題提出及び授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する</p> <p>※評価目安:筆記試験(70%)・冬休みの課題(20%)・授業態度や出席(10%)</p>						
教科書 教材など	<p>①AJESTHE認定フェイシャルエステティシャン AJESTHE認定ボディエステティシャン 理論と技術</p> <p>②ボディトリートメントのマニュアル</p>						
実務経験	ルグラン 美都子:有限会社 サロンドフローラにてエステティシャンとして9年半勤務				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2019年度 授業計画(シラバス)

科目名	フェイシャルエステティック基礎演習			コース名	トータルビューティ		
担当教員	ルグラン 美都子/時實 好恵	学年・学期	1年・通年	時間数	105 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業方法	<p>・フェイシャルエステティックの基本的な流れ、ベーシックな技術を学習する。一つ一つの手技の意味を学習する。基本的なエステティック機器の使用法や目的、注意事項や禁忌事項を学ぶ。美容に携わるのにふさわしい立ち居振る舞い、身だしなみの指導をする。</p> <p>・授業は講義形式で美容理論における理論的学習、エステティック技法演習を技術的学習との関連性をもたせた授業展開を心がける。</p>						
到達目標	<p>①事前準備も含めて、お客さまをおもてなしする姿勢と力を身につける。</p> <p>②社会人としての立ち居振る舞いを身に付ける。</p> <p>③ノーマル肌に対してトリートメントができる力を養う。</p>						
第1週	事前準備 ワゴン、ベットお客様のお通し	第16週	フェイシャルトリートメントノーマル工程の復習				
第2週	事前準備 ～ストレッチまで	第17週	フェイシャルトリートメント ノーマル工程				
第3週	ウイッグによる実習 クレンジング	第18週	エステティック機器 スチーマーの使用				
第4週	相モデルによる実習 クレンジング	第19週	エステティック機器 スチーマーの使用				
第5週	相モデルによる実習 スチームタオル	第20週	エステティック機器 吸引を含む工程				
第6週	相モデルによる実習 化粧水 乳液	第21週	エステティック機器 吸引を含む工程				
第7週	クレンジングテストの練習及び実施	第22週	ディープクレンジングのバリエーション 酵素				
第8週	オイルマッサージ軽擦法	第23週	ノーマル肌フルトリートメント				
第9週	オイルマッサージ強擦法	第24週	ノーマル肌フルトリートメント パックも含む				
第10週	オイルマッサージ揉擦法	第25週	エステティック機器 エレクトロクレンジング				
第11週	オイルマッサージ打法 振動法	第26週	ノーマル肌フルトリートメント エレクトロクレンジングを含む工程				
第12週	オイルマッサージ圧迫法 軽擦法	第27週	ノーマル肌フルトリートメント エレクトロクレンジングを含む工程				
第13週	マッサージテストの練習及び実施	第28週	ノーマル肌フルトリートメント エレクトロクレンジングを含む工程				
第14週	クレンジングテスト～マッサージ ローションパック	第29週	ノーマル肌の工程 試験対策				
第15週	クレンジング～ディープクレンジング ジェルパック	第30週	ノーマル肌の工程 試験対策				
評価方法	<p>・定期試験を実施し、実技試験と見極めテスト及び授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。 ※評価目安:実技試験(70%)・見極めテスト10点×2回(20%)・授業態度や出席(10%)</p>						
教科書 教材など	<p>①AJESTHE認定フェイシャルエステティシャン AJESTHE認定ボディエステティシャン 理論と技術 ②フェイシャルトリートメントのマニュアル</p>						
実務経験	ルグラン 美都子:有限会社 サロンドフローラにてエステティシャンとして9年半勤務				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2019年度 授業計画(シラバス)

科目名	ボディエステティック基礎演習			コース名	トータルビューティ		
担当教員	ルグラン 美都子/時實 好恵	学年・学期	1年・後期	時間数	75 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業方法	<p>・ハンドによるお手入れを中心に、ボディエステティックの基本的な流れ、ベーシックな技術を学習し、一つ一つの手技の意味を学習する。</p> <p>・授業方法は演習形式で身体の生理機能や解剖学の知識を踏まえて、骨格や筋肉、循環器など理解して行う。</p> <p>主にスキンケア、プロポーションメイキング、リラクゼーションなどの目的のマッサージを学ぶ。</p>						
到達目標	<p>①ボディエステティックの基本的な流れ、ベーシックな技術を習得する。</p> <p>②お客様にリラックスしていただけるようなタオル捌き、雰囲気作り、声掛けを身に付ける。</p> <p>③基本手技を理解し、全身のマッサージができるようにする。</p>						
授業計画・内容							
第1週	ベツメイク、事前準備と前操作						
第2週	下肢背面のマッサージ						
第3週	背中 of マッサージ						
第4週	前操作と背面のマッサージの通し						
第5週	前操作と背面のマッサージの通し						
第6週	前操作と背面のマッサージの通し及び見極めテスト						
第7週	下肢前面のマッサージ						
第8週	上肢のマッサージ						
第9週	デコルテ、首、頭のマッサージ						
第10週	前面のマッサージの通し						
第11週	前面のマッサージの通し						
第12週	前面のマッサージの通し及び見極めテスト						
第13週	全身の片側マッサージ						
第14週	全身の片側マッサージ						
第15週	後期試験対策						
評価方法	<p>・後期に学期末試験を実施し、実技試験と見極めテスト及び授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。</p> <p>※評価目安:出席率や授業態度(10%) ・見極めテスト10点×2回(20%) ・実技試験(70%)</p>						
教科書 教材など	<p>①AJESTHE認定フェイシャルエステティシャン AJESTHE認定ボディエステティシャン 理論と技術</p> <p>②ボディトリートメントのマニュアル</p>						
実務経験	ルグラン 美都子:有限会社 サロンドフローラにてエステティシャンとして9年半勤務				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2019年度 授業計画(シラバス)

科目名	化粧品学		コース名	トータルビューティ			
担当教員	木村 裕美／中山 いずみ	学年・学期	1年・通年	時間数	30 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業方法	化粧品学を学ぶ事で、多種類ある化粧品の中からお客様に最適な商品を提案できるようにする。授業は講義形式を中心に行う中で効能別商品に触れながら自身の肌で実感し、相モデルでアドバイスやご紹介をしていく。機器からのデータを分析し、必要性や役割を実感させる。						
到達目標	美容関連の仕事に携わるうえで、メイクアップ・ネイル・エステティック、どの分野に就職しても必要となる技術である、多種類ある化粧品の中からお客様に最適な商品を提案できるようになる。成分だけで、化粧品の中身がどんな効能を期待できるか判断できるようになる。						
授業計画・内容							
第1週	医薬品・医薬部外品・化粧品	第16週	官能評価について①				
第2週	薬事法	第17週	官能評価について②				
第3週	化粧品の分類①(フェイシャル化粧品)	第18週	官能評価について③				
第4週	化粧品の分類①(フェイシャル化粧品)実習	第19週	官能評価について④				
第5週	化粧品の分類②(メイクアップ化粧品)	第20週	官能評価について⑤				
第6週	化粧品の分類②(メイクアップ化粧品)実習	第21週	取扱い上の注意①				
第7週	化粧品の分類③(ボディ化粧品)	第22週	取扱い上の注意②				
第8週	化粧品の分類③(ボディ化粧品)実習	第23週	取扱い上の注意③				
第9週	化粧品の分類④(ヘアケア化粧品)	第24週	ブランド別成分と効果(クリニーク)				
第10週	化粧品の分類④(ヘアケア化粧品)実習	第25週	ブランド別成分と効果(ディオール)				
第11週	化粧品の分類⑤(フレグランス)	第26週	ブランド別成分と効果(コスメデコルテ)				
第12週	化粧品の分類⑤(フレグランス)実習	第27週	ブランド別成分と効果(資生堂)				
第13週	品質特性①	第28週	ブランド別成分と効果(RMK)				
第14週	品質特性②	第29週	ブランド別成分と効果(アクセーヌ)				
第15週	確認テスト	第30週	確認テスト				
評価方法	定期試験を実施し筆記テストの結果と出席状況や授業態度を考慮して成績を評価する。 ※評価目安: 定期試験(90%)・授業態度や出席(10%)						
教科書 教材など	一般社団法人日本エステティック協会テキストを基に作成したプリント						
実務経験	木村 裕美:Fika beauty&relax オーナー歴1年 中山 いずみ:株式会社 COパンドーラ(メイク担当)3年勤務			実務経験のある教員による 授業科目		✓	

2019年度 授業計画(シラバス)

科目名	メイクアップ基礎演習		コース名	トータルビューティ			
担当教員	木村裕美 / 中山 いずみ	学年・学期	1年・前期	時間数	90 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業方法	<p>・日本メイクアップ技術検定試験のテキストを柱に基礎を固め、日本メイクアップ技術検定試験3級取得を目指す。就職する際の技術保持者の証とする。</p> <p>・授業方法は実技演習で、テキストを使い理論を学んだ後デモンストレーションを展示し、相モデルで実習を行う。毎回相モデルを変えることで、様々な肌質や骨格のお客様に対応できる技術を身に付ける。</p>						
到達目標	<p>・日本メイクアップ技術検定3級取得を目指す。</p> <p>3級の内容を学ぶことで、30分以内でスキンケア、ベースメイクがスムーズに行えるようになる他、ベースメイクの質感がコントロールできる、顔型の分析力ができるようになる。</p>						
授業計画・内容							
第1週	検定について・テキスト説明・道具の説明・事前準備・セッティング						
第2週	パーツの名称・道具の準備練習						
第3週	ウィッグでスキンケア練習						
第4週	グループワーク						
第5週	スキンケア確認テスト・筆記対策プリント						
第6週	筆記対策プリント解答・デモスト・グループワーク						
第7週	グループワーク・再試験						
第8週	相モデルスキンケア①						
第9週	相モデルスキンケア②						
第10週	相モデルベースメイク①						
第11週	相モデルベースメイク②						
第12週	相モデルハイライト・ローライト・チーク①						
第13週	相モデルハイライト・ローライト・チーク②						
第14週	日本メイクアップ技術検定3級試験						
第15週	フェイシャルデザイン画制作						
評価方法	<p>・定期試験は実施せずに検定試験結果と授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。</p> <p>※評価目安: 検定試験結果(90%)・授業態度や出席(10%)</p>						
教科書 教材など	<p>・日本メイクアップ技術検定試験 公式テキスト 3級2級</p>						
実務経験	<p>木村 裕美:Fika beauty&relax オーナー歴1年 : 日本メイクアップ技術検定 オフィシャル試験官 中山 いずみ:株式会社 COパンドーラ(メイク担当) 3年勤務</p>				<p>実務経験のある教員による 授業科目</p>		✓

2019年度 授業計画(シラバス)

科目名	バリエーションメイクアップ		コース名	トータルビューティ			
担当教員	中山 いずみ/木村 裕美	学年・学期	1年・後期	時間数	90 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業方法	<p>・日本メイクアップ技術検定試験のテキストを柱に、メイクアップ技術検定試験の2級取得を目指すことでメイクアップに対しての知識を深める。</p> <p>・授業方法は演習形式で相モデルで実習をすることでスキンケアからポイントメイクまで全てを50分で仕上げられるようになる。また肌質やパーツバランスも違う相モデルで毎回実習を行う事で、現場で必要となる応用力を身に付ける。</p>						
到達目標	<p>・日本メイクアップ技術検定試験2級取得目標とすることで、ベースメイクの質感をツヤ肌にコントロールできるようになる。アイブローはペンシルとパウダーを併用した技術を習得する。アイシャドウは数色使用することで、立体感を出せる技術を習得する。リップブラシを使用し、モデルに合ったリップラインが描けるようになる。</p>						
授業計画・内容							
第1週	復習と確認・2級についての解説・デモスト展示						
第2週	マスカラオフテクニック						
第3週	ツヤ肌テクニック理論・実技①						
第4週	ツヤ肌テクニック理論・実技②						
第5週	アイブロー・アイシャドウ・アイライン・ビューラー・マスカラ・リップ①						
第6週	アイブロー・アイシャドウ・アイライン・ビューラー・マスカラ・リップ②						
第7週	2級通し練習①						
第8週	2級通し練習②						
第9週	2級通し練習③						
第10週	日本メイクアップ技術検定試験2級実技試験						
第11週	個性の分析<フレッシュ>						
第12週	個性の分析<フェミニン>						
第13週	個性の分析<マニッシュ>						
第14週	個性の分析<アダルト>						
第15週	バランス分析まとめ						
評価方法	<p>・日本メイクアップ技能検定2級の実技試験を実施し検定試験結果と授業態度や出席状況を考慮し成績を評価する。</p> <p>※評価目安:検定結果(90)%・授業態度や出席(10%)</p>						
教科書 教材など	日本メイクアップ技術検定試験 公式テキスト 3級2級						
実務経験	木村 裕美:Fika beauty&relax オーナー歴1年 日本メイクアップ技術検定 オフィシャル試験官 中山 いずみ:株式会社 CPパンドーラ(メイク担当)3年勤務				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2019年度 授業計画(シラバス)

科目名	ネイリスト検定3級対策		コース名	トータルビューティ			
担当教員	石井 貴子／難波 陽子	学年・学期	1年・前期	時間数	90時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業方法	<p>・7月に行われるネイリスト技能検定3級試験合格を目標に、ネイルケア、ネイルアートに関する基本的な技術及び知識を身につけていきます。</p> <p>・授業は主に実技演習でデモンストレーションやDVD視聴を行い学び、実習は基本は相モデルで練習をし講義でネイル検定3級の試験対策をする授業である。</p>						
到達目標	<p>・毎回、組みかえて行う相モデル実習でクラスの仲間全員と親交を深めながら練習を重ね技術を上げてJNAネイリスト技能検定3級の合格を目指す。</p> <p>・検定日：7月14日(日)、10月27日(日)、2020年1月19日(日)</p>						
第1週	自己紹介、授業の進め方、年間スケジュールを説明、教材確認、ラベル・名前・シール貼り						
第2週	教科書読み・説明、テーブルセッティング、ファイル面とり、スティック削り						
第3週	ハンドにチップ付け、3級検定DVD視聴、爪の形の説明、エメリーボードの持ち方・使い方						
第4週	ラウンドのやり方(カメラデモ)、ハンドでラウンド練習、ネイルケアの流れをプリントで説明						
第5週	ネイルケア相モデル練習(プッシュアップまで)、ニッパーの使い方説明						
第6週	ネイルケア相モデル練習(消毒～ニッパー処理まで)、カラーリング説明・デモ・相モデル練習						
第7週	ネイルケア・カラーリング相モデル練習、リムーブデモ、リムーブ練習						
第8週	アート練習(説明・デモ・紙の上で練習・ハンドで練習・相モデル練習)						
第9週	リムーブ・ケア・カラー・アート 相モデル練習・筆記過去問題集練習						
第10週	リムーブ・ケア・カラー・アート 相モデル練習(本番モデル可)、筆記勉強						
第11週	リムーブ・ケア・カラー・アート 相モデル練習(本番モデル可)、筆記勉強						
第12週	リムーブ・ケア・カラー・アート 相モデル練習(本番モデル可)、筆記勉強、模擬試験						
第13週	リムーブ・ケア・カラー・アート 相モデル練習(本番モデル可)、筆記勉強						
第14週	リムーブ・ケア・カラー・アート 相モデル練習(本番モデル可)、筆記勉強、模擬試験						
第15週	リムーブ・ケア・カラー・アート 相モデル練習(本番モデル可)、筆記勉強						
評価方法	<p>・学期末試験で実技と筆記試験の結果、授業態度や出席状況、及び課題提出状況を考慮して成績を評価する。</p> <p>※評価目安：実技と筆記試験結果(60%)・授業態度や出席(30%)・課題提出(10%)</p>						
教科書 教材など	JNAテクニカルシステムベーシック・ネイリスト技能試験公式問題集						
実務経験	石井 貴子： サロンワーク経験12年 (有限会社 うるわし)				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2019年度 授業計画(シラバス)

科目名	ネイリスト検定2級対策		コース名	トータルビューティ			
担当教員	石井 貴子／難波 陽子	学年・学期	1年・通年	時間数	120時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業方法	<p>・サロンワークで適用するレベルのネイルケアをはじめ、リペア・チップラップ・ネイルアートに関する知識及び技術を身に付け、ネイリスト技術検定2級合格を目指します。</p> <p>・授業は実技演習で基本は相モデルで練習を行い、理解度を高めるために繰り返し学習する。またネイリスト検定2級を目指す上で講義形式で筆記対策も行う。</p>						
到達目標	<p>・毎回、組み替えて行う相モデル実習でクラスの仲間全員と親交を深め、練習を重ね技術レベルを上げて行きJNAネイリスト技術検定2級の合格を目指す。</p> <p>※検定日：10月20日(日)、2020年1月18日(土)</p>						
授業計画・内容							
第1週	ネイルケア・チップラップ相モデル練習		第16週	筆記試験、ネイルケア・チップラップ練習			
第2週	ネイルケア・チップラップ相モデル練習		第17週	筆記試験、ネイルケア・チップラップ練習			
第3週	2級検定テーマ アート練習		第18週	リムーブ・ネイルケア・チップラップ・アート相モデル練習			
第4週	ネイルケア・チップラップ・アート相モデル練習		第19週	リムーブ・ネイルケア・チップラップ・アート相モデル練習			
第5週	検定要項・注意事項の説明		第20週	リムーブ・ネイルケア・チップラップ・アート相モデル練習			
第6週	リムーブ・ネイルケア・チップラップ・アート相モデル練習		第21週	リムーブ・ネイルケア・チップラップ・アート相モデル練習			
第7週	リムーブ・ネイルケア・チップラップ・アート相モデル練習		第22週	模擬試験			
第8週	リムーブ・ネイルケア・チップラップ・アート相モデル練習		第23週	リムーブ・ネイルケア・チップラップ・アート相モデル練習			
第9週	リムーブ・ネイルケア・チップラップ・アート相モデル練習		第24週	リムーブ・ネイルケア・チップラップ・アート相モデル練習			
第10週	模擬試験		第25週	リムーブ・ネイルケア・チップラップ・アート相モデル練習			
第11週	リムーブ・ネイルケア・チップラップ・アート相モデル練習		第26週	リムーブ・ネイルケア・チップラップ・アート相モデル練習			
第12週	リムーブ・ネイルケア・チップラップ・アート相モデル練習		第27週	模擬試験			
第13週	リムーブ・ネイルケア・チップラップ・アート相モデル練習		第28週	リムーブ・ネイルケア・チップラップ・アート相モデル練習			
第14週	リムーブ・ネイルケア・チップラップ・アート相モデル練習		第29週	リムーブ・ネイルケア・チップラップ・アート相モデル練習			
第15週	リムーブ・ネイルケア・チップラップ・アート相モデル練習		第30週	リムーブ・ネイルケア・チップラップ・アート相モデル練習			
評価方法	<p>・定期試験を実施し実技・筆記試験の結果と授業態度や出席状況及び課題提出を考慮して成績を評価する。</p> <p>評価目安：実技・筆記試験(60%)・授業態度や出席(30%)・課題提出(10%)</p>						
教科書 教材など	JNAテクニカルシステムベーシック ネイリスト技術検定試験公式問題集						
実務経験	石井 貴子： サロンワーク経験12年（有限会社 うるわし）			実務経験のある教員による 授業科目		✓	

2019年度 授業計画(シラバス)

科目名	ジェルネイル基礎演習		コース名	トータルビューティ			
担当教員	石井 貴子／難波 陽子	学年・学期	1年・後期	時間数	30時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業方法	<p>・ジェルネイルを施術するために、必要な基礎的な知識を伝え、次術も習得していきます。ジェルネイル検定初級の全員合格を目指します。</p> <p>・授業は実技演習で学生達の理解度を高めるためにデモンストレーションで指先の細かい技術を書画カメラに写しだし教える。また実践を想定して相モデルで練習する。</p>						
到達目標	<p>・毎回、組み替えて行う相モデル実習でクラスメイト全員と親交を深め、練習を重ねて技術レベルを上げて行き、JNAジェルネイル技術検定試験の初級合格を目指す。</p> <p>※検定日：2020年2月中旬頃</p>						
授業計画・内容							
第1週	ジェルネイルについての説明 プリント・教科書使用						
第2週	ジェルネイル実技カメラデモ、ハンドで練習						
第3週	ジェルネイル相モデル練習						
第4週	ピーコックアート カメラデモ ハンド練習						
第5週	ピーコックアート相モデル練習						
第6週	ジェルカラーリング、ピーコックアート相モデル練習						
第7週	ジェルカラーリング、ポリッシュカラーリング、ピーコックアート相モデル練習						
第8週	ジェルカラーリング、ポリッシュカラーリング、ピーコックアート相モデル練習						
第9週	ジェルカラーリング、ポリッシュカラーリング、ピーコックアート相モデル練習						
第10週	ジェルカラーリング、ポリッシュカラーリング、ピーコックアート相モデル練習						
第11週	ジェルカラーリング、ポリッシュカラーリング、ピーコックアート相モデル練習						
第12週	ジェルカラーリング、ポリッシュカラーリング、ピーコックアート相モデル練習						
第13週	ジェルカラーリング、ポリッシュカラーリング、ピーコックアート 模擬試験 相モデル						
第14週	ジェルカラーリング、ピーコックアート 相モデル練習、筆記勉強						
第15週	ジェルカラーリング、ピーコックアート 相モデル練習、筆記勉強						
評価方法	<p>・学期末試験を実施し実技・筆記の結果と授業態度や出席状況を考慮して、成績を評価する。</p> <p>※評価目安：実技・筆記試験結果(70%)・授業態度や出席(30%)</p>						
教科書 教材など	JNAテクニカルシステム ジェルネイル ネイリスト技術検定試験公式問題集						
実務経験	石井 貴子： ネイルサロン経験12年(有限会社 うるわし)				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2019年度 授業計画(シラバス)

科目名	ネイリスト検定2級集中対策			コース名	トータルビューティ		
担当教員	石井 貴子／難波 陽子	学年・学期	1年・前期	時間数	15時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業方法	<p>・ネイリスト技能検定2級合格を目指すことで、ネイリストとして自信にもつながるため、集中対策として夏休みを中心に技術を練習を行う。</p> <p>・授業は実技演習で新しい技術を習得するために書画カメラを使用して指先の細かい技術を視聴させ、デモ・ハンド練習を経て相モデル練習へと移行していく。</p>						
到達目標	<p>・毎回、組み替えて行う相モデル実習でクラスメイト全員と親交を深め、練習を重ね技術レベルを上げていき、JNAネイリスト技能検定2級の合格を目指す。</p> <p>※検定日:10月20日(日) 2020年1月18日(土)</p>						
授業計画・内容							
第1週	シルクラップ プリント配布・教科書で説明						
第2週	シルクラップ カメラデモ、ハンドで練習						
第3週	シルクラップ ハンド練習						
第4週	シルクラップ ハンド練習						
第5週	チップラップ プリント配布・教科書で説明						
第6週	チップラップ カメラデモ、ハンドで練習						
第7週	チップラップ ハンドで練習						
第8週	チップラップ ハンドで練習						
第9週	チップラップ 相モデル練習						
第10週	チップラップ 相モデル練習						
第11週	チップラップ 相モデル練習						
第12週	チップラップ 相モデル練習						
第13週	ネイルケア相モデル練習						
第14週	2級指定色相モデル塗布練習						
第15週	2級指定色相モデル塗布練習						
評価方法	<p>・定期試験は実施せずに、授業中に技術チェックを行うが、集中授業のため授業態度と出席状況や課題提出状況を考慮し成績を評価する。</p> <p>評価目安:技術チェック(30%)・授業態度や出席(50%)・課題提出(20%)</p>						
教科書 教材など	JNAテクニカルシステムベーシック ネイリスト技能検定試験公式問題集						
実務経験	石井 貴子: ネイルサロン経験12年(有限会社 うるわし)				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2019年度 授業計画(シラバス)

科目名	カラーコーディネート		コース名	トータルビューティ			
担当教員	小川 智子	学年・学期	1年・通年	時間数	60時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業方法	<p>・AFT色彩検定3級の公式テキストに沿って、色彩の基礎知識を学び色彩を感覚でなく理論的に考える力をつける授業である。</p> <p>・授業は講義形式で色彩検定の公式テキストを使って理論を学びながら、配色カードを使って実習と段階にあわせて確認テストを行うことで理解土の確認を行う。</p>						
到達目標	<p>色彩の基礎知識を習得することを目的とし、内容はAFT色彩検定3級レベルとする。公式テキストを用いることで受験への意識を高め、色彩を感覚的なものから知識を用いて考えることができるようになることを目指す</p>						
授業計画・内容							
第1週	色の表示 色の三属性		第16週	色彩と生活			
第2週	PCCS 三属性		第17週	ファッションと色彩 トップとボトムの色合い効果			
第3週	PCCS トーン		第18週	ファッションと色彩 ファッションコーディネイト			
第4週	PCCS カラーダイヤル作成		第19週	インテリア			
第5週	混色理論 減法混色		第20週	慣用色名			
第6週	混色理論 加法混色		第21週	まとめ			
第7週	目の仕組み		第22週	色彩と表現 色彩心理			
第8週	色の心理的効果		第23週	イメージと配色実習 テイスト①			
第9週	色の視覚効果		第24週	イメージと配色実習 テイスト②			
第10週	色の知覚的効果		第25週	イメージと配色実習 テイスト③			
第11週	色彩調和 基本的な考え方		第26週	季節感の表現実習 春夏			
第12週	色彩調和 色相からの配色		第27週	季節感の表現実習 秋冬			
第13週	色彩調和 トーンからの配色		第28週	カラーコンセプトとは			
第14週	配色技法		第29週	作品作成(コラージュ)			
第15週	色彩効果		第30週	作品発表			
評価方法	<p>定期試験を実施するほかに、授業内に行う確認テスト、出席状況、授業態度、最終課題の提出を考慮して成績を評価する</p> <p>※評価目安: 定期試験(50%)、確認テスト(20%)、最終課題(20%)、出席状況と授業態度(10%)</p>						
教科書 教材など	AFT色彩検定公式テキスト、配色カード、ハサミ、スティック糊						
実務経験	検定対策授業担当20年以上			実務経験のある教員による 授業科目			

2019年度 授業計画(シラバス)

科目名	フェイシャル画		コース名	トータルビューティ			
担当教員	岩崎 孝子	学年・学期	1年・後期	時間数	30 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業方法	<p>・美容関係に必要な色彩学を学び、また短時間でフェイシャル画全体を美しく表現出来るように、基礎から、スピード感をもち描き上げることができるように教える。</p> <p>・授業方法は講義形式で行い講師作成資料を基に説明をし、学習内容に応じて、演習形式でフェイシャル画を描く際に全体のバランス感を養えるように授業を進めていく。</p>						
到達目標	<p>・フェイシャル画で大切なのは全体のバランス、色彩、感情表現、美的感覚を高め、理解してもらえるよう描き、またスピード感をもって描けるようにすることを目標にする。</p>						
授業計画・内容							
第1週	デッサンの基礎						
第2週	顔のフォルム						
第3週	部分の表現						
第4週	部分の表現、全体のバランス						
第5週	色鉛筆の使い方・塗り方						
第6週	平面から立体へ						
第7週	イリュージョン						
第8週	正面						
第9週	側面						
第10週	斜め						
第11週	表情のイラストレーション						
第12週	フェイスペンティングのデザイン						
第13週	ヘアー						
第14週	正面、側面とも1枚に仕上げる						
第15週	完成度を上げる						
評価方法	<p>・学期末試験を実施しフェイシャル画の作成能力と成長度や提出物、授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。</p> <p>※評価目安: フェイシャル画の作成能力(55%)・成長度や提出物(25%)・授業態度や出席(20%)</p>						
教科書 教材など	<p>はじめての女性レッスン帳 ヘアースタイル画 ファッションイラストレーション画 画用紙、色鉛筆</p>						
実務経験	講師 38年			実務経験のある教員による 授業科目			

2019年度 授業計画(シラバス)

科目名	接客マナー		コース名	トータルビューティ			
担当教員	時實 好恵	学年・学期	1年・通年	時間数	30 時間	必須・選択	必須
授業概要・ 授業方法	美容業での接客業務を中心としたビジネスの場面に応じた言葉の使い方、電話対応、接客など基本的ビジネスマナーと、コミュニケーションビジネスの場面に応じた良好な人間関係を構築することの意義や必要性及びビジネスに対する望ましい心構えや考え方について学ぶ授業。 授業は主として講義形式で行い、学習内容に応じての演習を行う。						
到達目標	ビジネスマナーでの学習を出発点とし、進路の指導、その他の教科・科目とも組み合わせたキャリア教育としてのコミュニケーション能力の育成。						
授業計画・内容							
第1週	接客マナーの授業概要、受講上の注意	第16週	電話対応⑤(予約電話の受け方)				
第2週	美容業界の接遇の特徴・顧客満足	第17週	電話対応⑥(予約電話の演習問題)				
第3週	好印象を与えるポイント①(メラビアン法則)	第18週	電話対応⑦(電話のかけ方)				
第4週	好印象を与えるポイント②(見た目による印象)	第19週	電話対応⑧(伝言メモの作成、FAXの送り方)				
第5週	好印象を与えるポイント③(身だしなみ)	第20週	電話対応⑨(伝言メモ作成の演習問題)				
第6週	好印象を与えるポイント④(接客用語、敬語)	第21週	ビジネス電話検定演習問題①				
第7週	好印象を与えるポイント⑤(尊敬語、謙譲語)	第22週	ビジネス電話検定演習問題②				
第8週	好印象を与えるポイント⑥(丁寧語、敬語)	第23週	ビジネス電話検定演習問題③				
第9週	好印象を与えるポイント⑦(敬語の演習問題)	第24週	接客対応①(心構え、受付～お見送り)				
第10週	好印象を与えるポイント⑧(間違いやすい敬語)	第25週	接客対応②(施術中に使用する言葉)				
第11週	好印象を与えるポイント⑨(敬語の演習)	第26週	接客対応③(お茶の出し方、来客対応演習1)				
第12週	電話対応①(電話の特性、電話話法の基本)	第27週	接客対応④(会計～後片付け)				
第13週	電話対応②(電話対応の基本用語)	第28週	接客対応⑤(階段、エレベータ利用でのご案内)				
第14週	電話対応③(電話の受け方の基本)	第29週	接客対応⑥(席次、来客対応演習2)				
第15週	電話対応④(電話の受け方の演習)	第30週	接客対応⑦(お客様以外の来客対応)				
評価方法	定期試験、出席状況、提出物、授業態度を考慮して成績を評価する。 ※評価目安: 定期試験(50%)・出席状況(15%)、提出物(15%)、授業態度(20%)						
教科書 教材など	プリント、ファイル						
実務経験	なし			実務経験のある教員による 授業科目			

2019年度 授業計画(シラバス)

科目名	サービス接客対策			コース名	トータルビューティ		
担当教員	時實 好恵	学年・学期	1年・通年	時間数	45 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業方法	<p>・商品等の販売知識や接客知識の理解。ビジネスの場での形はないが金銭的価値のあるサービスでお客様に接することの意義や必要性、サービススタッフとして望ましい心構えや考え方について学ぶ。また、実際のサービスの現場を紹介し、サービススタッフとしてのミッション、働きぶり、サービスマインドの理解を深める。</p> <p>・授業は主として講義形式で行い、学習内容に応じての検定問題演習や学習進度に応じて実技演習を行う。検定直前には補習授業を行い、合格に向けての指導を強化する。</p>						
到達目標	<p>実務技能検定協会主催サービス接客検定準1級、2級、3級の取得を目標とする。 検定終了後はサービスの現場を想定したロールプレイングでの演習を行い、就業後、スムーズに業務に携わることができる能力を養う。</p>						
授業計画・内容							
第1週	当該授業の概要説明、受講上の注意		第16週	2級対策⑧(2級過去問題演習2)			
第2週	3級対策①(サービススタッフに必要とされる要件)		第17週	2級対策⑨(2級過去問題演習2解説)			
第3週	3級対策②(サービス知識、従業知識)		第18週	2級対策⑩(2級過去問題演習3)			
第4週	3級対策③(人間関係、接客知識)		第19週	2級対策⑪(2級過去問題演習3解説)			
第5週	3級対策④(問題処理、環境整備、金品管理)		第20週	2級対策⑫(2級過去問題演習4)			
第6週	3級対策⑤(3級過去問題演習1、解説)		第21週	2級対策⑬(2級過去問題演習4解説)			
第7週	3級対策⑥(3級過去問題演習2、解説)		第22週	準1級対策①(面接試験DVD視聴、解説)			
第8週	3級対策⑥(3級過去問題演習3、解説)		第23週	準1級対策②(面接演習:挨拶、接客用語)			
第9週	2級対策①(サービススタッフの資質)		第24週	準1級対策③(面接演習:接客応答)			
第10週	2級対策②(サービススタッフの従業要件)		第25週	準1級対策④(面接演習:接客対応)			
第11週	2級対策③(経済用語、商業用語)		第26週	準1級対策⑤(面接総合演習)			
第12週	2級対策④(社会常識、時事問題)		第27週	社交業務の実際(掛け紙、表書き)			
第13週	2級対策⑤(顧客心理、提示、説明)		第28週	ロールプレイング1(受付、接待)			
第14週	2級対策⑥(金品搬送、社交業務)		第29週	ロールプレイング2(テレセールス)			
第15週	2級対策⑦(2級過去問題演習1、解説)		第30週	ロールプレイング3(接客対応)			
評価方法	<p>検定試験結果、出席状況、提出物、授業態度を考慮して成績を評価する。 ※評価目安:検定試験結果(50%)・出席状況(15%)、提出物(15%)、授業態度(20%)</p>						
教科書 教材など	「サービス接客検定実問題集3級」、「サービス接客検定実問題集1級・2級」、プリント						
実務経験	なし				実務経験のある教員による 授業科目		

2019年度 授業計画(シラバス)

科目名	一般教養		コース名	トータルビューティ			
担当教員	末次 厚志	学年・学期	1年・前期	時間数	15 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業方法	高校までに学習した漢字の読み書き、計算、時事問題など社会に出てから必要となる基礎知識を復習する。 授業方法として学生の基礎知識の差があるため基本的な項目を復習しながら教えて行く。						
到達目標	社会にでた時に困らないように漢字の読み書き及び小数点や加減乗除の計算、濃度計算、時事問題を理解させ、また就職試験での問題を読み文書の意味が分かるように教える。						
授業計画・内容							
第1週	基本的な計算問題を教える						
第2週	小数点・分数の計算						
第3週	漢字の読み書きの復習						
第4週	漢字の読み書きの復習						
第5週	社会常識またはその時にタイムリーに起っている時事問題を確認し学習する。						
第6週	社会常識またはその時にタイムリーに起っている時事問題を確認し学習する。						
第7週	社会常識またはその時にタイムリーに起っている時事問題を確認し学習する。						
第8週	社会常識またはその時にタイムリーに起っている時事問題を確認し学習する。						
第9週	計算の基礎(小数点・分数)の復習から加減乗除の計算方法を教える。						
第10週	計算の基礎(小数点・分数)の復習から加減乗除の計算方法を教える。						
第11週	割合・百分率の計算の仕方を学ぶ						
第12週	割合・百分率の計算の復習						
第13週	百分率を使って濃度計算の練習						
第14週	就職試験に向けてSPI対策問題を解く						
第15週	就職試験に向けてSPI対策問題を解く						
評価方法	定期試験を実施し、課題内容を考慮して成績を評価する。 ※評価目安: 授業使用ファイルの確認・(10%) 定期試験(90%)						
教科書 教材など	講師作成プリント(一部引用 出版: 廣濟堂あかつき 本名: 実践就職問題集)						
実務経験						実務経験のある教員による 授業科目	

2019年度 授業計画(シラバス)

科目名	就職ゼミ			コース名	トータルビューティ		
担当教員	時實 好恵	学年・学期	1年・通年	時間数	30 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業方法	2年次の就職活動に向けての必要な知識を学ぶ。また、就職に関するガイダンス・企業説明会等を実施し、就職活動に関する情報を提供する。その情報をもとに、自分自身が取捨選択し、解決能力を身に付けることができるよう指導する。 授業は講義形式・グループワークを組み合わせで行う。就職活動の進捗に応じて個別の面接練習を行う。						
到達目標	就職の目的や目標を明確にし、将来目指す職業への関心を深め、働くことの意義や職業理解を通じて、学生一人ひとりが意欲的に就職活動に向けた行動がとれるようにする。						
授業計画・内容							
第1週	オリエンテーション、就職ゼミの授業概要		第16週	業界・職業を知る①(業界研究)			
第2週	わかりやすく伝える(伝言ゲーム)		第17週	業界・職業を知る②(企業研究)			
第3週	グループディスカッション、グループワークの説明		第18週	業界・職業を知る③(卒業生ガイダンス)			
第4週	グループディスカッション演習①		第19週	グループディスカッション演習③			
第5週	グループディスカッション演習②		第20週	グループディスカッション演習④			
第6週	グループワーク演習①		第21週	クレペリン検査模擬試験			
第7週	グループワーク演習②		第22週	能力適性検査模擬試験			
第8週	自己分析①(自己分析の必要性)		第23週	グループワーク演習③			
第9週	自己分析② (今までに力を入れたこと、趣味)		第24週	グループワーク演習④			
第10週	自己分析③ (クラブ活動・文化活動、自覚している性格)		第25週	会社説明会の参加の仕方			
第11週	自己分析④ (自己紹介、自己PR)		第26週	企業を知る(企業ガイダンス)			
第12週	自己分析⑤ (将来の夢、5年後10年後の自分)		第27週	面接試験のマナー①			
第13週	就職サイトの登録		第28週	面接試験のマナー②			
第14週	オープンエントリーシート作成①		第29週	履歴書の書き方①			
第15週	オープンエントリーシート作成②		第30週	履歴書の書き方②			
評価方法	定期試験、課題提出および内容、出席状況、授業態度を考慮して成績を評価する。 ※評価目安: 定期試験(60%)・課題やレポート(20%)・授業態度や出席(20%)						
教科書 教材など	プリント、就職ハンドブック						
実務経験	なし				実務経験のある教員による 授業科目		